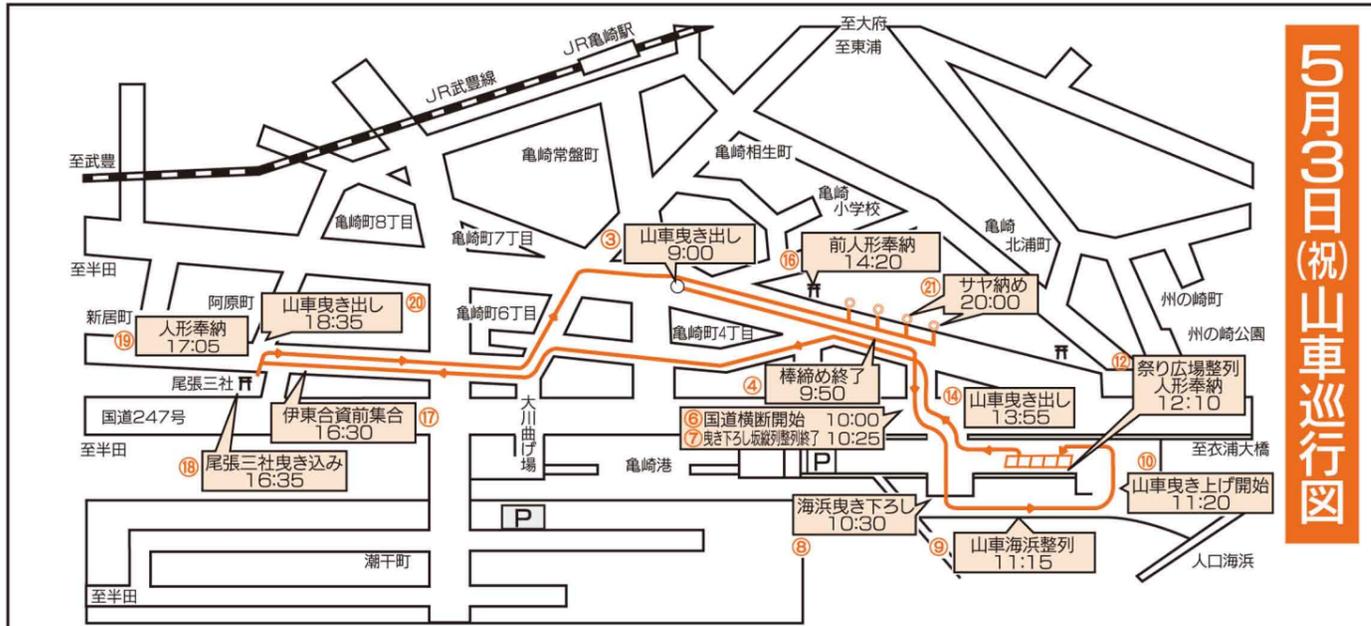


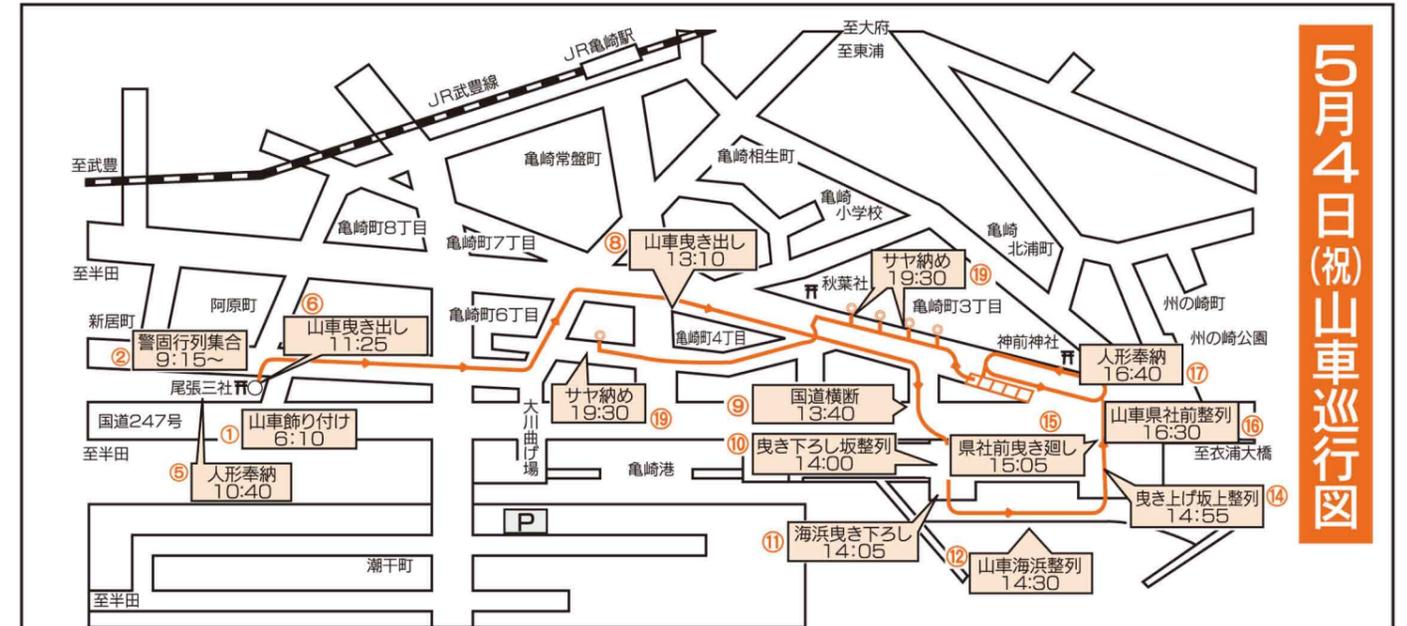
勇壮・華麗 浜に五輦の花が咲く!

かめ ざき ひお ひ まつり 亀崎潮干祭

国指定重要無形民俗文化財
愛知県指定有形民俗文化財



5月3日(祝)山車巡行図



5月4日(祝)山車巡行図

●山車運行時刻表

1. 山車祈禱(東組より)	6:30	8. 海浜曳き下ろし開始	10:30	14. 山車曳き出し(西組より)	13:55
2. 秋葉社以西・大川以東集合	7:50	9. 海浜山車縦列整列終了	11:15	15. 国道横断開始(西組より)	14:00
3. 山車曳き出し	9:00	10. 山車曳き上げ開始 (代参元のみ北浦神明社神楽奉納)	11:20	16. 秋葉社にて前山車奉納(西組開始)	14:20
4. 棒締め終了	9:50	11. 曳き上げ坂上縦列整列終了	11:45	(東組終了)	15:55
5. 山車曳き出し	9:55	12. 祭り広場整列終了	12:10	17. 本町經由伊東合資前集合	16:30
6. 国道横断開始(東組より)	10:00	13. 人形芸奉納開始 (所要時間 約1時間30分)	12:15	18. 尾張三社曳き込み開始	16:35
7. 曳き下ろし坂縦列整列終了	10:25	14. 山車曳き出し(西組より)	13:55	19. 人形芸奉納開始(所要時間約1時間30分)	17:05
		15. 国道横断開始(西組より)	14:00	20. 山車曳き出し	18:35
		16. 秋葉社にて前山車奉納(西組開始)	14:20	21. サヤ納め	20:00
		(東組終了)	15:55		
		17. 本町經由伊東合資前集合	16:30		
		18. 尾張三社曳き込み開始	16:35		
		19. 人形芸奉納開始(所要時間約1時間30分)	17:05		
		20. 山車曳き出し	18:35		
		21. サヤ納め	20:00		

●山車運行時刻表

1. 尾張三社にて山車飾り付け終了	6:10	8. 山車曳き出し	13:10	15. 山車曳き出し、国道横断後	15:05
2. 警固行列にて尾張三社集合	9:15~	9. 国道横断開始(東組より)	13:40	神前神社前曳き廻し開始(東組より1組毎)	
3. 神楽奉納終了後・棒締め開始	9:45	10. 曳き下ろし坂縦列整列終了	14:00	16. 神前神社前整列終了	16:30
4. 棒締め終了後・山車整列終了	10:35	11. 海浜曳き下ろし開始	14:05	17. 人形芸奉納開始 (所要時間約1時間30分)	16:40
5. 人形芸奉納開始(代参元のみ山人形奉納)	10:40	12. 海浜山車縦列整列終了	14:30	18. 山車曳き出し後町内巡行	18:20
6. 山車曳き出し	11:25	13. 山車曳き上げ開始	14:35	19. サヤ納め 千秋楽	19:30
7. 秋葉社以西集合	12:00	14. 曳き上げ坂上縦列整列終了	14:55		

- 亀崎潮干祭のみどころ
- 勇壮な山車海浜曳き下ろし (5月3日 10時30分〜、5月4日 14時5分)
- 綱さばきと楯とりの妙技! (大川曲げ場) (5月3日 15時30分頃〜、5月4日 11時40分頃)
- からくり人形奉納 (5月3日 15時30分頃、5月4日 11時40分頃)
- 祭り広場 (5月3日 12時15分頃、5月4日 10時40分頃)
- 尾張三社 (5月3日 16時10分頃、5月4日 16時40分頃)
- 神前神社 (5月4日 16時40分頃)
- 風格の伝統行事 警固行列 (5月4日 9時15分頃、尾張三社)

◆西組花王車
建造 弘化3年(一八四六)
主な彫刻 「太平楽衆人」葡萄採り仙人
立川和四郎富昌

◆中組力神車
建造 文政9年(一八二六)
主な彫刻 「力神」子持龍 立川和四郎富昌

◆東組青龍車
建造 明治24年(一八九一)
主な彫刻 「風伯神・雷電神」竹内久

◆東組宮本車
建造 元治元年(一八六四)
主な彫刻 「鶴退治」龍に虎 瀬川治助重光

潮干祭は、衣ヶ浦の海に面した半田市亀崎町 神前神社の祭礼。その昔、神武天皇東征の折、この地に訪れたという伝説にちなんで、毎年旧暦3月15・16日の両日に、5輦の山車を潮干(しおひ)の浜へ曳き下ろしたところから、「潮干祭」の名がつけられました。

応仁・文明の頃(15・16世紀)、京都から難を逃れてこの地に住みついた武家らの発案により、荷車のような台車に笹竹をたて、曳き廻したのが、山車の起源と言われています。時を経て、江戸時代の元禄から宝暦の頃(18世紀前半)に現在のよう豪華な山車が造られました。現在の山車は文化・文政以降(19世紀初め)に建造されたもので、「幕末の左甚五郎」と言われる諏訪の立川和四郎富昌などの名工による彫刻や、岸駒の郎下絵による刺しゅうの施された大幕、七宝の柱など、幕末以来の爛熟した工芸技術の粋を集めて造られています。またからくり人形では、江戸時代の竹田からくりの生きた化石とも絶賛されている人形が奉納されています。

さらには、平成5年からは、人工海浜が造成され、伊勢湾台風以降中断していた山車の海浜曳き下ろしが30数年ぶりに復活し、名実ともに豪華な潮干祭として復活しつつあります。

現在、愛知県有形民俗文化財に指定。平成18年3月15日、国の重要無形民俗文化財に指定。

* 天候等都合により、時間・コースなどが変わる場合があります。また、雨天の際は順延します。